

『怪談』と小泉セツ・八雲夫妻 ～再話がつむぐ「ばけばけ」の物語～

再話とは、原話を再構成し新たな物語に創作すること

You are the sweetest little woman in the whole world. ❤



夫妻と長男 雄

日 時 令和7年12月14日（日） 14:00～

場 所 富山市立図書館本館 2F ロビー

次 第

(敬称略)

14:00～ はじめに 朗読

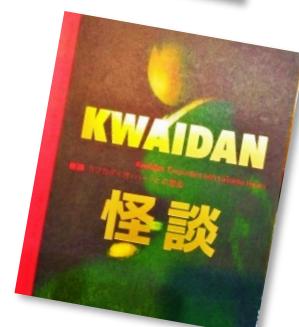
小泉セツ「思い出の記」から

14:15～ ご紹介

セツと八雲の生涯の歩み

14:45～ 実演

英語・日本語 紙芝居「ムジナ」



15:00～ フォーラム

「ばけばけ」セツ・八雲夫妻
そして「ヘルン文庫」へ

15:30 閉会

共催 富山市立図書館交流行事運営委員会 富山八雲会

ヘルン文庫が富山に来て 101 年 ヘルン文庫に託した思い



小泉セツ



田部隆次



南日恒太郎



馬場はる



ハーンの日本関係書籍と『神國日本』手書き原稿
(富山大学中央図書館ヘルン文庫所蔵)



月例会 ハーン著書の輪読など



公開セミナー など (6月)



秋のセミナー(馬場記念公園など)

富山八雲会は、こんな活動に取り組んでいます。お気軽にご参加ください。

ハーン関係書籍の出版活動



Web ページ



小泉八雲（ハーン）はどんな人？
怪談や評論、隨筆などで世界に紹介しました。



八雲のハサゴ

没落からの放浪、読書と執筆により名声を得る

ギリシアから英國へアメリカへ

1850年ギリシャのレフカダ島で、ギリシャ豪族の娘と、イギリス占領軍医の父の間に生まれ、2歳の時、父の故郷アイルランドへ来ました。4歳の時、母は宗教など様々な理由からギリシアへ帰り、7歳の時、父が英國法により占領地での結婚無効を申し立て母を離縁。大叔母に預けられました。11歳でフランス教会学校、13歳で英國神学校に入学、16歳で左目を失明し、17歳の時に大叔母の破産で学校を中退しました。

19歳でアメリカへ移民し、極貧の中で混血女性との結婚が州法違反となり解雇され、別の新聞社に移りますが、離婚します。西インド諸島マルティニーグで2年間に数冊の本を出版しました。

1890年 四十歳で来日

ハーンは、以前から関心があつた日本に、旅行案内執筆のため渡日しましたが、契約内容への不満から辞めます。文部省高官の紹介で、松江に赴き、中学校と師範学校で英語を教えました。

西の周りの世話をした旧士族の娘小泉セツは好みで八雲に物語り、創作に加わった



小泉セツはどんな人？

没落士族への差別と偏見から、東京帝大講師夫人へ

1868年、明治維新の年に、松江の上級武士小泉家に生まれ、生後7日で、稻垣家の養女となつた。家は没落し、11歳から機織りをして家計を支えた。

19歳で婿養子を迎えるが貧困のため夫は出奔。セツは大阪に会いに行くが、拒絶され寂寥を嘗める。離婚し小泉姓に戻る。

22歳で、ハーンの身の周りの世話をする。

新聞に著し書かれハーンは激怒。

23歳で、ハーンや養父母らとともに熊本へ。

25歳で長男・一雄誕生。27歳ハーンの神戸クロニクル

社転職とともに神戸へ。28歳ハーンが帝国大學文科大学講師とともに東京へ。29歳次男・巖誕生。

31歳 三男・清誕生。35歳 長女・壽々子誕生。ハーン東京帝大を解雇。

(1)

異文化への理解と尊重

ハーンの著作には、日本の文化への深い洞察があり、異なる存在を受け入れる姿勢が貫かれています。現在の世界では、異文化や他者を排斥することによる不幸な事態が続いています。異文化を尊重する重要性を、世界に発信してきました。ハーンの言葉は優れて現代的な課題を示してくれています。

日本人 小泉八雲となる

当時の英國法では、妻のセツや子どもらへの財産相続が認められないため、ハーンは日本人に帰化し小泉八雲となります。八雲の名は『古事記』の和歌からなりました。東京帝國大学で7年間英文学を講義、多くの人材を育てました。

セツと結婚。セツに日本の物語を語つてもらい作品を執筆しました。松江には1年少々暮らしましたが、冬の寒さに堪えられず、セツの大家族とともに熊本第五高等學校に移住しました。ハーンは、熊本が西南戦争以降、近代化により日本のよさを失ったことに大きな懸念を感じます。3年後、神戸の英字新聞社に1年間勤めますが、外国人社会の日本人蔑視が嫌いだったと言います。



セツの「英語覚え書帳」

アエ・ハブ・エテン・ブレンテ「私たちさんたべました」I have eaten plenty. アーラ・ユウ・ハングレ「貴君くふくですか」Are you hungry? ピレーテ「きれい」pretty

八雲がセツに言つた言葉

ユオ・アーラ・デー・スエテーシタ・レトル・オメン・エン・デー・ホーラ・ワラーダ（英文は、表紙にあります）

怪談—セツと八雲による再話文学

八雲は、セツに、自分の言葉で、怪談を語るように頼みました。二人の合作であります。日本の昔話に、西洋的な要素が入っています。

「雪女」の西洋と日本の要素

「雪女」は、日本の昔話に、西洋の宿命の女、ファムファターの凄みと、日本的な母性を加えた創作。日本に翻訳され「日本昔話」の一つになりました。

「稻村の火」津波防災の物語

ハーンは、1854年の安政南海地震での津波の際に、現・和歌山県広川町の海岸の住民を助けるため、高台の稻村に火を放ち、避難させた庄屋梧陵の実話を「生き神」にまとめました。

「T S U N A M I」は世界語となり、翻訳され「稻村の火」として、小学校の教科書にも取り上げられています。